



<道しるべ>

本当の賢い人というのは、
自分の愚かさを知っている人です

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標（スローガン）>

感謝＋優しさ＝笑顔と幸せへの道
発行：長崎市立丸尾中学校
文責：校長 川口 猛
令和8年10月2日（火）NO25

「豊かな心と挑戦する力を育む言葉の道しるべ」

「言葉」には魔力があります。良い意味でも、悪い意味でも。私たちは、言葉を介してコミュニケーションを図りますが、実際に言葉を口に出していようと、文字にして配信しようと、**言葉は、人を勇気づけたり、道しるべになったり、逆に SNS を介した誹謗中傷になったりして人を傷つけることもあります。**2学期は、生徒たちにとって、多くの学びや成長の機会を得ています。時には壁にぶつかったり、悩んだりすることもあるかもしれません。そんなとき、**心の中で自分を支え、次の一歩を踏み出す力となる「言葉の道しるべ」**を今回は紹介しようと思います。生徒たちは、予測不可能な時代に生きていきます。これまでは、いかに PC を扱えるかが重要視されていたのが、今や、この1年～2年で、AIをいかに使いこなせるかが情報社会の中核をなしています。**そんな時代にでも忘れてほしくない『格言・名言』。ご家庭でのコミュニケーションや会話のきっかけとしても、ぜひ一緒にお読みください。**

【一生忘れないでほしい9つの大切なこと】

日々の生活や人との関わりの中で、決して見失ってはいけない大切な心構えです。

- ① 負けてはいけないのが「自分」
- ② 失ってはいけないのが「信用」
- ③ 言ってはいけないのが「悪口」
- ④ 捨ててはいけないのが「情熱」
- ⑤ 決めてはいけないのが「限界」
- ⑥ **忘れてはいけないのが「感謝」**
- ⑦ 諦めてはいけないのが「希望」
- ⑧ 信じてはいけないのが「永遠」（今という瞬間を大切に）
- ⑨ お金よりも大切なのが「時間」
自分自身に負けず、人との信頼や時間を大切にできる強い心を育てていきましょう

「幸せ」や「充実感」

今年度の重点テーマは、『感謝＋優しさ＝笑顔と幸せへの道』。幸せや充実感につながるのは、自分自身の捉え方や他者への関わり方から生まれます。つまり前向きなとらえ方と、優しさ

- ・ **幸せな事が多いのは、感謝を知っているから**
- ・ 楽しい事が多いのは、自分に甘えないから
- ・ **嬉しい事が多いのは、人の事も考えているから**
- ・ **笑う事が多いのは、思いやりがあるから**
- ・ 心が穏やかなのは、今を懸命に生きているから
- ・ 壁を乗り越えていけるのは、自分が裸になっているから（飾り気のないありのままの自分で立ち向かうこと）
- ・ 冷静沈着でいられるのは、将来を見据えているから

周りへの感謝と思いやりの姿勢を持つことが、自分自身の豊かな生き方へとつながります。

このような格言は、様々な本から、そしてネットからのもので、「おーこれは、生徒たちに伝えたいな。保護者にも伝えたら、何か会話になって、いつも話さないようなことも家族の中でもりあがるかな……」と思いつきながら気になったものを記しておいたものです。教員なり立ての10年間くらいは、「中学教育」という本を毎月買って、その付録の中に、名言・格言などがあり、学級経営で使用してました。長年教員を勤め、年を重ねると、様々な経験から自分が大切にしたい概念や言葉が固まってきます。保護者の皆様も、自身の大切にしている格言や

名言、社会人になって、気づかされたことなど、生徒たちの心の栄養になるものをどんどんお話しください。家族そろっても、それぞれがそれぞれにスマホをいじって会話がな。こんな寂しいものではなく、言葉で語り合える場を残していきましょう。早く生まれた、私とか、本校職員とか保護者の皆様が後世の若者に残さなければならぬことのひとつかもしれません。古（いにしえ）のよきものは、現代になってもよきものであると信じます。私は、考えが古すぎるのですかね・・・昭和も昭和。駅前の伝言板とか、言葉を使った文化でした。今はなくなりましたが。

青春時代は、好きな人に電話番号を聞くのも、ときどきしましたよね。そして、電話をかけるときの緊張感。心臓バクバクでした。令和時代では「告る」つまり好きな人に好きだというのも、今は、スマホから告白。以前は、必ず口にしていうか、手紙でした。携帯電話やスマホがなかった時代は、ロマンチックな面もあり言葉の力というものがいろんなところに影響したなとしみじみ思います。脇にそれまし

大リーグで大活躍している大谷選手の名言

大谷翔平の10の教訓

世界で活躍するメジャーリーガー・大谷翔平選手の言葉には、夢や目標に向かって努力するための具体的なヒントが詰まっています。

1. 目標を立てればいいのではなく、**いかに目標に向かって真剣に取り組むを行えるかも大切です**

2. 人生が夢をつくるんじゃない。**夢が人生をつくるんだ**

3. 他人がポイッと捨てた運を拾っているんです（ゴミ拾いやマナーの大切さ）

4. 周りからは失敗に見えることでも、僕からしたら前へ進むための段階という場合があります。決して、後ろに下がっているわけではない

5. 成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事

6. イラッときたら、負けだと思ってるんで

7. 悔しい経験がないと、嬉しい経験もない

8. 自分はここまでしかできないのかなと、臆測だけで制限をかけてしまうのはムダなことだと思います

9 「毎日バットを振る」というよりは、**毎日何分間、毎日何本振っていくと具体的に**していくことですね

10 高校時代、「楽しいより正しいで行動しなさい」と言われてきたんです。何が正しいのか考えて行動できる人が大人だと思いますし、今の自分はまだまだですけど、制限をかけて行動するのは大事なのかなと思います

以前、『私たちの行動する判断基準は、楽しいか楽しくないかではなく、正しいか、正しくないかである』と記載したことがあると思いますが、大谷選手は、高校時代、既に、大人は、何が正しいのかを考え行動できる人と気づいているですね。やはり、素晴らしいの一言です。

本当の大人になるために、日々の生活で判断を迫られる場合が多々あると思います。大人になる直前の中学生。大人になるための訓練が日常生活の中には潜んでいます。自分の夢を追いかけて、自分の人生をつくり、そして、生涯、失敗を恐れずにトライして試みるのが大切だということが読み取れます。

2学期の合言葉:3つの'C'で成長しよう!

